



すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ

東京都教育施策大綱

令和7年3月

すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び育つ東京に

- ◆ 東京都は、都政の新たな羅針盤である「2050東京戦略 ～東京 もっとよくなる～」を公表しました。「世界で一番の都市・東京」を実現するために、2050年代の東京の新たな「ビジョン」と、2035年に向けた「戦略」を描いています。
- ◆ 緊迫する国際情勢、人口減少・少子高齢化に加え、デジタルが急激に進展する大変革の時代です。未来を切り拓くのは「人」。その人を育てる「教育」は、言うまでもなく最重要事項の一つです。
- ◆ デジタルの力を活用しながらグローバルに活躍する人材を育成する、一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育を充実させる、学校現場での働き方改革を一層推進するなど、これまで以上に柔軟な発想で、果敢に挑戦していかなければなりません。
- ◆ 予測困難な時代の中で、学びのあり方そのものも改革していく必要があります。デジタルとリアルの最適な組み合わせによる「新たな教育のスタイル」を、この東京からしっかりと展開していきたい。そんな思いのもと、この「東京都教育施策大綱」を策定しました。
- ◆ 新たな大綱に基づき、教育委員会と一体となって、子供一人一人に寄り添った政策を展開します。すべての子供が将来への大きな希望を抱きながら、自ら伸び育つ東京を創り上げてまいります。

令和7年3月

東京都知事

小池百合子



1

2050年代の東京の姿 P3

2

未来の東京に生きる子供の姿 P4

3

東京の目指す教育 P5

- 東京の目指す教育の実現に向けた3つの学び
- 東京型教育モデルをバージョンアップして「新たな教育のスタイル」へ
- 次世代の学びの基盤を作るプロジェクト[LPX]で教育を変えていく

4

特に重要で優先的に取り組む事項 P9

- 「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開
- デジタルを活用した学び方の転換
- 世界を舞台に活躍できる人材の育成
- 一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実
- インクルーシブな教育の推進
- 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化



CONTENTS

1 2050年代の東京の姿

すべての子供が希望を持って、自ら伸び、育ち、未来を創造



- これまでの**学びのあり方**を東京から**改革**し、社会の変化に柔軟に対応できる「**新たな教育のスタイル**」により、自分らしく成長できる**自由で多様な学び**が展開されている
- **予測困難な時代**を生き抜く力を身に付け、**世界を舞台に新たな価値や経済を協創**する**グローバル人材**を次々輩出している
- 教職員の働き方改革が進み、多様で優秀な指導者が、世界トップの人材を育成する**東京の教育の仕組み**を**日本の教育のスタンダード**に

2

未来の東京に生きる子供の姿



自らの個性や能力を伸ばし、
様々な困難を乗り越え、
人生を切り拓いていく
ことができる

他者への共感や思いやりを
持つとともに、自己を確立し
多様な人々が共に生きる
社会の実現に寄与する

3 東京の目指す教育



誰一人取り残さず、
すべての子供が
将来への希望を持って、
自ら伸び、育つ教育

ポイント

- 子供たち一人一人が個性や強みを伸ばして、自ら伸びようとする意欲を高め、自分らしく成長できる
- 子供たちが、学校内外での学びが、社会や自分の将来とどのようにつながっているかを意識し、学びの意義や意味を実感できる
- 教育DXによって、子供たちがいつでもどこでも、自分に合った学習の進度や方法で学ぶことができる

東京の目指す教育の実現に向けた3つの学び

- 子供一人一人が、何のために学ぶのか、
学んだことがどう役立つのかを実感、理解
- 子供一人一人の学習の進度や興味・
関心の度合い、発達の段階等
に応じた学びを追求

子供の意欲を
引き出す学び

ICTの活用
による学び

社会全体の力
を生かした学び

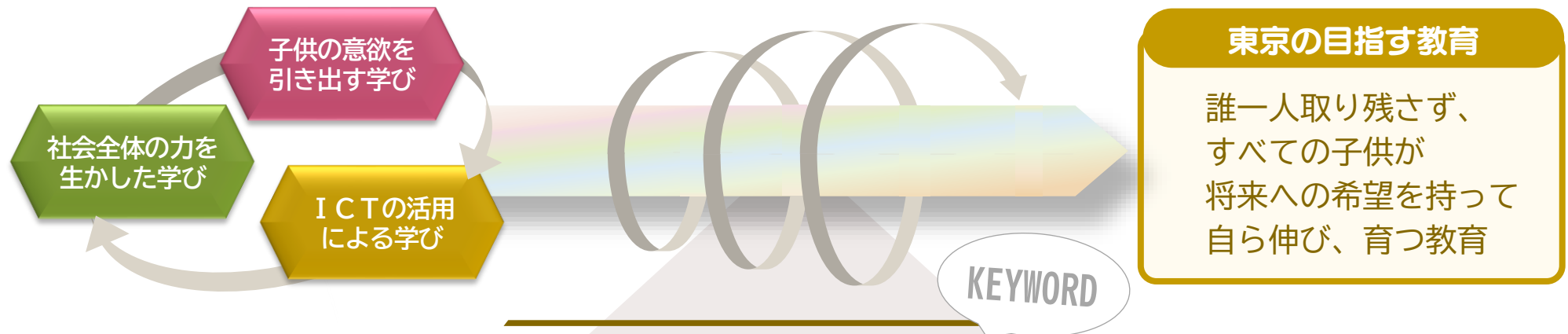
- ICTを活用し、何をどのように学ぶのかという観点から、一人一人に最適な学びと協働的な学びのベストミックスを図り、教え方や学び方を改革

- 子供一人一人のおかれた様々な状況に応じて、学校、家庭、地域、区市町村、関係機関等が互いに連携し、社会全体で子供の成長を支援



東京型教育モデルをバージョンアップして「新たな教育のスタイル」へ

東京の目指す教育の実現に向けて、3つの「学び」を有機的に連携させ、日々実践・改善



「東京型教育モデル」を

次世代の学びの基盤を *ILPX*
作るプロジェクト *Learning Platform Transformation*

でバージョンアップ！

一人一人に最適な学びを実現するため、
学びのあり方そのものを見直し、「**新たな教育のスタイル**」を検討



多様な学びの場で、いつでも学べる



教職員は、子供の学びの伴走者になる



興味関心に応じた学びを実現できる



学びのデータを子供も教職員も活用する

次世代の学びの基盤 を作るプロジェクト [LPX] で教育を変えていく

世界の動きは、
これまでの常識を遥かに越える

急速に進む少子高齢化や人口減少

国際競争力の低下、DXの爆速的進化

就業・雇用形態の大きな変化

すべての子供たちが希望を持って、自ら伸び、育つためには

**グローバルな環境で力を発揮
できる人材**を育む教育が必要

柔軟な創造性

主体性

チャレンジ精神

これまでの学びのあり方を見直し、
「新たな教育のスタイル」に変革

2025

次世代の学びの基盤を **LPX**
作るプロジェクト Learning Platform
Transformation

このように変えていきます！

●場所・時間



学校のみならず、外部機関やオンライン等の
様々な場で、自分に合った時間割で学べる

●学習内容・指導者



教職員は子供の学びの伴走者となり、専門家等
と連携し、探究等の実践的な学びを展開する

●学び方



東京の資源を生かし、一人一人の知識や興味
関心に応じた学びを実現できる環境を整える

●学習成果・評価



子供が学びのデータを活用してアセスメント
や目標設定等を行い、自ら学びを創造する

デジタルとリアルの最適な組合せ

4

特に重要で優先的に取り組む事項

「新たな教育のスタイル」 を都立高校から展開

東京発のデジタルとリアルを
融合した学習者中心の新しい学び



デジタルを活用した 学び方の転換

子供がICTも活用しながら、
学びのプロセスを自ら決定する授業



世界を舞台に活躍できる 人材の育成

言葉の壁を乗り越え、国内外の
課題を解決していける力を伸ばす



一人一人の子供の状況に応じた きめ細かな教育の充実

自分らしく成長できる多様な学び
の場と居場所を学校内外に整備



インクルーシブな 教育の推進

共生社会の実現に向け、多様な背景を
持つ子供たちが共に学び、共に伸びる



子供たちの学びを支える 教職員・学校の力の強化

学校における働き方改革の抜本的
な推進などにより、教育の質を向上



「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開



東京発の デジタルとリアルを融合した 学習者中心の新しい学び

ポイント

- 先の見えない不確かな時代だからこそ、学校は、**変化に対応**できる**柔軟な創造性、主体性、チャレンジ精神**等を育成することが必要。一方で、学校のスタイルはほぼ変化せず、制度疲労など限界も
- 学びのあり方そのものを見直し、**デジタルとリアルの最適な組合せ**による、**一人一人**の興味関心に応じた**新しい学び**を開発、都立高校から展開

施策例

- 次世代の学びの基盤を作るプロジェクト [LPX] の展開
- 新しい科目(アントレプレナーシップ等)
- 先端的な都立版の学習支援システムの導入
- 学校外の専門機関との連携
- 探究型の学びの推進 等

デジタルを活用した学び方の転換



子供がICTも活用しながら
学びのプロセスを
自ら決定する授業

ポイント

- **デジタルの力**を活用し、子供が、何をどのように学ぶかといった**学びのプロセスを自ら決定**し、物事を比較・分類するなどの**思考のスキル**を身に付けられるよう、**学び方**そのものを**転換**
- AIが急速に進展。端末や通信環境の整備といった単なるデジタル化の段階から、**AI**等を**活用**した**学び**を**日常とするステージ**へ

施策例

- 生成AIの活用促進
- デジタル教科書の導入
- デジタルを活用した
これからの学び
- TOKYOスマート・スクール
・プロジェクトの推進 等

世界を舞台に活躍できる人材の育成



言葉の壁を乗り越え、
国内外の課題を解決して
いける力を伸ばす

ポイント

- 世界人材ランキングで、日本の語学力は下から数えて2番目。英語力を伸ばしていくことは、世界に通用する人材の育成につながる
- 海外での学び等を通じた国際感覚^{かん}の涵養や、社会課題への挑戦を促すアントレプレナーシップの醸成など、イノベーションを生み出して未来を創造する力を伸ばす取組を強化

施策例

- グローバル教員の育成
- 海外派遣、国際交流の充実
- 英語スピーキングテスト
- AI学習教材の活用
- 起業家精神を育む教育 等

一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実



自分らしく成長できる
多様な学びの場と居場所を
学校内外に整備

ポイント

- いわゆる不登校状態の小・中学生が過去最多を更新。子供たちの声に耳を傾け、**社会全体で一人一人の成長を支える態勢**が必要
- 子供が、自らの**個性や強みを伸ばして、自分らしく成長**できるよう、学校内外の**多様な学びの場と居場所**を整備し、**学校とのつながり**が全くない子供をゼロに

施策例

- スクールカウンセラー等の専門人材の充実
- 不登校対応校内分教室「チャレンジクラス」の拡大
- 放課後や朝の居場所づくり
- 中学校35人学級 等

インクルーシブな教育の推進



共生社会の実現に向け、
多様な背景を持つ子供たちが
共に学び、共に伸びる

ポイント

- 誰もが**ありたい自分を実現**し、一人一人の**個性を強み**として発揮できるよう、**多様な人々と交流**し、**共に学ぶ環境**を提供することが重要
- 多様な人が共に支え合う**共生社会の実現**に向け、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、**連続性**のある**多様な学びの場**を一層充実

施策例

- 進学・就労支援の充実
- 専門人材の活用促進
- ダイバーシティの推進
- 特別支援学校と高校との協働

等

子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化



学校における働き方改革 の抜本的な推進などにより 教育の質を向上

ポイント

- 人によってこの社会は支えられ、その中で人は自己実現を図っていく。**一人一人**の子供の状況に応じた**きめ細かな教育**と**教員の自己実現**、両方が大切
- 教員等の**仕事の負担を軽減**するBPX(ビジネス・プロセストランスフォーメーション)により、**業務効率化**を推進し**授業の質の向上**を図るとともに、外部人材の活用や校内の体制を強化し、**学校全体の対応力**を底上げ

施策例

- 業務のアウトソーシング
- 在校時間の見える化
- 優れた教員の確保・育成
- 部活動の地域連携
- 東京都教育支援機構(TEPRO)による学校支援 等